

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成22年4月20日
【四半期会計期間】	第13期第2四半期（自平成20年7月1日至平成20年9月30日）
【会社名】	ユニバーサルソリューションシステムズ株式会社
【英訳名】	Universal Solution Systems Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 青木 毅
【本店の所在の場所】	東京都港区虎ノ門一丁目17番1号
【電話番号】	03-6858-0411（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 村上 孝徳
【最寄りの連絡場所】	東京都港区虎ノ門一丁目17番1号
【電話番号】	03-6858-0411（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 村上 孝徳
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

当社が平成20年3月期に行った投資有価証券の評価及び売掛金債権に関する貸倒引当金の見積が不適切であることが社内調査委員会及び社外調査委員会の調査により判明いたしました。

それら不適切な会計処理について会計上適切な計上金額へ修正し、その修正に伴い発生する諸影響の反映を、過年度の財務諸表等に対して実施いたしました。

その結果、過去に提出いたしました第13期第2四半期報告書（自平成20年7月1日至平成20年9月30日）の記載事項の一部に訂正すべき事象が生じたので、これを訂正するため、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき四半期報告書の訂正報告書を提出いたします。

また、訂正後の四半期財務諸表については、優成監査法人により四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

なお、四半期財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所については、XBRLデータの修正も行っておりますので、併せて訂正後のXBRLデータ一式（表示情報ファイルを含む）を提出いたします。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第5 経理の状況

2 監査証明について

1 四半期財務諸表

(1)四半期貸借対照表

注記事項

(1 株当たり情報)

3【訂正箇所】

訂正箇所は__線で示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第13期 第2四半期 累計期間	第13期 第2四半期 会計期間	第12期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 9月30日	自平成20年 7月1日 至平成20年 9月30日	自平成19年 4月1日 至平成20年 3月31日
売上高(千円)	1,137,067	476,915	2,309,607
経常損失(千円)	147,393	158,706	<u>506,398</u>
四半期(当期)純損失(千円)	140,070	159,652	<u>622,857</u>
持分法を適用した場合の投資利益(千円)	-	-	-
資本金(千円)	-	968,150	915,900
発行済株式総数(株)	-	69,734	58,734
純資産額(千円)	-	<u>631,243</u>	<u>663,709</u>
総資産額(千円)	-	<u>1,352,114</u>	<u>1,346,722</u>
1株当たり純資産額(円)	-	<u>9,007.64</u>	<u>11,300.25</u>
1株当たり四半期(当期)純損失金額(円)	2,137.62	2,289.45	<u>10,604.72</u>
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
1株当たり配当額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	-	<u>46.5</u>	<u>49.3</u>
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	30,580	-	163,674
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	88,689	-	184,143
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	158,732	-	40,734
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高(千円)	-	289,337	249,876
従業員数(人)	-	89	92

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3 持分法を適用した場合の投資利益は、関連会社の損益等からみて重要性が乏しいため記載しておりません。

4 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、1株当たり四半期(当期)純損失であるため記載しておりません。

(訂正後)

回次	第13期 第2四半期 累計期間	第13期 第2四半期 会計期間	第12期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 9月30日	自平成20年 7月1日 至平成20年 9月30日	自平成20年 4月1日 至平成21年 3月31日
売上高(千円)	1,137,067	476,915	2,309,607
経常損失(千円)	147,393	158,706	<u>528,898</u>
四半期(当期)純損失(千円)	140,070	159,652	<u>758,996</u>
持分法を適用した場合の投資利益(千円)	-	-	-
資本金(千円)	-	968,150	915,900
発行済株式総数(株)	-	69,734	58,734
純資産額(千円)	-	<u>495,104</u>	<u>527,570</u>
総資産額(千円)	-	<u>1,215,975</u>	<u>1,210,583</u>
1株当たり純資産額(円)	-	<u>7,055.38</u>	<u>8,982.36</u>
1株当たり四半期(当期)純損失金額(円)	2,137.62	2,289.45	<u>12,922.61</u>
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
1株当たり配当額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	-	<u>40.5</u>	<u>43.6</u>
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	30,580	-	163,674
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	88,689	-	184,143
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	158,732	-	40,734
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高(千円)	-	289,337	249,876
従業員数(人)	-	89	92

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3 持分法を適用した場合の投資利益は、関連会社の損益等からみて重要性が乏しいため記載しておりません。

4 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期(当期)純損失であるため記載しておりません。

第5【経理の状況】

2 監査証明について

(訂正前)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第2四半期会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び当第2四半期累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期財務諸表について、優成監査法人による四半期レビューを受けております。

(訂正後)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第2四半期会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び当第2四半期累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期財務諸表について、優成監査法人による四半期レビューを受けております。

また、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の四半期財務諸表について、優成監査法人による四半期レビューを受けており、改めて四半期レビュー報告書を受領しております。

1【四半期財務諸表】

(1)【四半期貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	299,337	249,876
売掛金	331,730	307,304
仕掛品	3,547	-
その他	69,974	77,342
貸倒引当金	71,730	59,414
流動資産合計	632,860	575,109
固定資産		
有形固定資産	37,458	38,449
無形固定資産		
ソフトウェア	414,152	464,636
その他	1,700	1,712
無形固定資産合計	415,853	466,349
投資その他の資産		
投資有価証券	140,400	141,585
その他	122,873	124,868
投資その他の資産合計	263,273	266,454
固定資産合計	716,585	771,253
繰延資産	2,668	360
資産合計	1,352,114	1,346,722
負債の部		
流動負債		
買掛金	126,357	157,363
短期借入金	84,000	85,000
1年内返済予定の長期借入金	1,196	8,168
1年内償還予定の社債	200,000	200,000
未払法人税等	4,092	4,650
賞与引当金	26,923	26,961
その他	146,846	148,829
流動負債合計	589,416	630,973
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	95,000	-
退職給付引当金	6,629	6,498
その他	29,824	45,541
固定負債合計	131,453	52,040
負債合計	720,870	683,013

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	968,150	915,900
資本剰余金	575,200	522,950
利益剰余金	915,211	775,140
株主資本合計	<u>628,138</u>	<u>663,709</u>
新株予約権	3,104	-
純資産合計	<u>631,243</u>	<u>663,709</u>
負債純資産合計	<u>1,352,114</u>	<u>1,346,722</u>

(訂正後)

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	299,337	249,876
売掛金	331,730	307,304
仕掛品	3,547	-
その他	69,974	77,342
貸倒引当金	94,230	81,914
流動資産合計	610,360	552,609
固定資産		
有形固定資産	37,458	38,449
無形固定資産		
ソフトウェア	414,152	464,636
その他	1,700	1,712
無形固定資産合計	415,853	466,349
投資その他の資産		
投資有価証券	26,760	27,946
その他	122,873	124,868
投資その他の資産合計	149,634	152,815
固定資産合計	602,946	657,614
繰延資産	2,668	360
資産合計	1,215,975	1,210,583
負債の部		
流動負債		
買掛金	126,357	157,363
短期借入金	84,000	85,000
1年内返済予定の長期借入金	1,196	8,168
1年内償還予定の社債	200,000	200,000
未払法人税等	4,092	4,650
賞与引当金	26,923	26,961
その他	146,846	148,829
流動負債合計	589,416	630,973
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	95,000	-
退職給付引当金	6,629	6,498
その他	29,824	45,541
固定負債合計	131,453	52,040
負債合計	720,870	683,013

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	968,150	915,900
資本剰余金	575,200	522,950
利益剰余金	1,051,350	911,279
株主資本合計	<u>491,999</u>	<u>527,570</u>
新株予約権	3,104	-
純資産合計	<u>495,104</u>	<u>527,570</u>
負債純資産合計	<u>1,215,975</u>	<u>1,210,583</u>

【注記事項】

(1株当たり情報)

(訂正前)

1 1株当たり純資産額

当第2四半期会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末 (平成20年3月31日)
1株当たり純資産額 9,007.64円	1株当たり純資産額 11,300.25円

2 1株当たり四半期純損失金額

当第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額 2,137.62円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。	1株当たり四半期純損失金額 2,289.45円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額		
四半期純損失(千円)	140,070	159,652
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失(千円)	140,070	159,652
普通株式の期中平均株式数(株)	65,526	69,734
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要	平成20年6月25日開催の定時株主総会の決議によるストック・オプション(新株予約権) 普通株式 5,500株 新株予約権数 5,500個 なお、概要は「第4提出会社の状況、1株式等の状況、(2)新株予約権等の状況」に記載のとおりであります。	同左

(訂正後)

1 1株当たり純資産額

当第2四半期会計期末 (平成20年9月30日)	前事業年度末 (平成20年3月31日)
1株当たり純資産額 7,055.38円	1株当たり純資産額 8,982.36円

2 1株当たり四半期純損失金額

当第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額 2,137.62円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。	1株当たり四半期純損失金額 2,289.45円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額		
四半期純損失(千円)	140,070	159,652
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失(千円)	140,070	159,652
普通株式の期中平均株式数(株)	65,526	69,734
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要	平成20年6月25日開催の定時株主総会の決議によるストック・オプション(新株予約権) 普通株式 5,500株 新株予約権数 5,500個 なお、概要は「第4提出会社の状況、1株式等の状況、(2)新株予約権等の状況」に記載のとおりであります。	同左

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年4月19日

ユニバーサルソリューションシステムズ株式会社

取締役会 御中

優成監査法人

指定社員 公認会計士 加藤善孝 印
業務執行社員

指定社員 公認会計士 本間洋一 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているユニバーサルソリューションシステムズ株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの第13期事業年度の第2四半期会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析の手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、ユニバーサルソリューションシステムズ株式会社の平成20年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期会計期間及び第2四半期累計期間の経営成績並びに第2四半期累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

- 第5【経理の状況】2監査証明についてに記載されているとおり、会社は金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき四半期財務諸表を訂正している。当監査法人は訂正後の四半期財務諸表について四半期レビューを行った。
- 継続企業の前提に関する注記に記載されているとおり、会社は前々事業年度、前事業年度において営業損失、当期純損失を計上し、当第2四半期累計期間においても、営業損失155,950千円、四半期純損失140,070千円を計上している。また、営業活動によるキャッシュ・フローも、前事業年度に引き続きマイナスになっている状況において、1年以内償還予定の社債200,000千円があることから、継続企業の前提に関する重要な疑義が存在している。当該状況に対する会社の対応等は当該注記に記載されている。四半期財務諸表は継続企業を前提として作成されており、このような重要な疑義の影響を四半期財務諸表には反映していない。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。